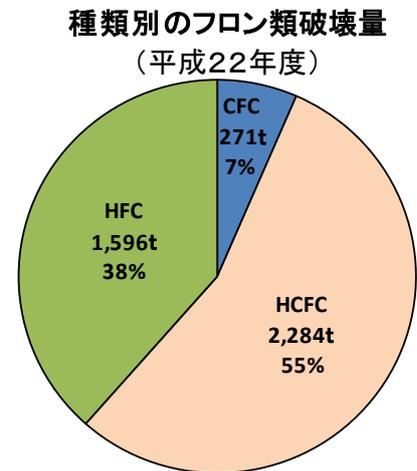
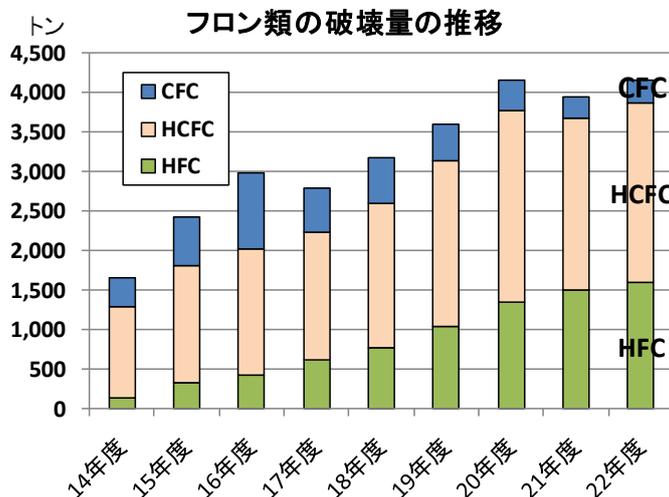


破壊量等の報告の集計結果（平成22年度）

単位：kg

	CFC	HCFC	HFC	合計
年度当初の保管量	16,358	51,768	18,075	86,201
第1種(業務用冷凍空調機器)	203,606	2,315,752	787,574	3,306,932
第2種(カーエアコン)	65,070	—	838,970	904,040
引き取った量の合計	268,676	2,315,752	1,626,545	4,210,972
破壊した量	271,357	2,284,285	1,595,989	4,151,631
年度末の保管量	13,676	83,235	48,631	145,543

※小数点未満を四捨五入しているため、表中の数値の和は必ずしも合計欄の値に一致しない。



〈参考〉フロンの種類について

CFC (クロロフルオロカーボン) 冷媒、発泡剤、洗浄剤等として使用される。オゾン層を破壊する物質であり、モントリオール議定書に基づき1995年(平成7年)末で先進国において生産が全廃された。強力な温室効果ガスでもある。

HCFC (ハイドロクロロフルオロカーボン) CFCの代替物として開発された物質であり、CFCに比べるとオゾン層を破壊する力は弱い。モントリオール議定書に基づき先進国においては2019年(平成31年)末までに生産を全廃しなければならない。強力な温室効果ガスでもある。

HFC (ハイドロフルオロカーボン) CFC、HCFCの代替物として開発された、いわゆる代替フロンの。オゾン層破壊物質ではないが、強力な温室効果ガスであり、京都議定書において排出削減対象物質となっている。